



挑友真
戦愛理

豊岡中だより 第13号

磐田市立豊岡中学校 令和7年3月19日発行

3月18日(火)に、第64回卒業証書授与式が行われ、3年生103名が卒業しました。式後の卒業合唱では、心のこもった合唱を披露しました。合唱の途中に感謝のメッセージを伝える場面があり、3年間の思い出があふれ、涙する生徒が多くいました。この豊岡中学校で学んだことを生かし、夢に向かって歩いていくことを願っております。

さて、本日3月19日(水)に修了式を行いました。この令和6年度は、どんな1年でしたか？4月からの自分を振り返りながら、成長を感じてください。今の自分をしっかりと分析してみましょう。きっと1年後、大きな成長を感じることができると思います。

保護者の皆様には、本校の教育活動に多大なる御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。来年度も職員一同、一丸となって取り組みますので、よろしくお願いたします。

修了式 校長式辞



「目標の達成」 校長 秋田和寛

生徒代表の1年池西 祐翔さん、2年田崎 涼晟さん、令和6年度を振り返り、春休みや令和7年度に向けての決意発表が自分の言葉で語られ、大変立派な発表でした。ありがとうございました。

今日で令和6年度が修了します。今、各学年の代表の松島さんと入手さんに「修了証書」を渡しました。この修了証書は、皆さん一人一人がこの豊岡中で真剣に学び、学年の全課程を修了したことを証明するものです。皆さんが一年間、豊岡中に通うことができたのも、家族の方をはじめ、いろいろな方のおかげです。なので、この修了証を受け取ったら、応援をいただいた方々に対してお礼の気持ちを持ってください。

さて、皆さんは一年前に立てた目標は達成できたでしょうか？もちろん、達成できた人もいれば、残念ながら達成できなかった人もいるでしょう。そこで、一つ考えてほしいのが、「達成できなかった理由」です。目標は立てただけでは達成できません。自分は立てた後にどんな行動をしたでしょうか？また、どれくらい本気で行動したでしょうか？一度自分自身を振り返り、よく考えてみてください。

昔、数多くの有名な小説を書いた宇野千代さんという方がいました。宇野さんはある時から、全く小説が書けなくなったそうです。そこで、「私はもう書けない。そういう年齢になったのだ。」と考え、その後は全く書かないでいたそうです。そんな時、先輩の小説家より「できないと思えば、いつまでもできない。できると信じるのが、できないこともできるようになる。」と言われたそうです。その後、宇野さんは、「きっと書ける。」と強く信じて書き始めてみたら、どんどん書けたそうです。

現実的に、目標を強く信じて、全て達成できないかもしれません。時には上手いいかないこともあるでしょう。しかし、「どうせ達成できない」と思っている人よりも「必ず達成する」と思っている人の方が、達成できる可能性は高くなります。また、日頃から自分の目標を強く意識している人は、達成するための行動にも真剣になります。

「自分は一年前に立てた目標に、「できる」「達成する」と信じて取り組んでいたか」を、振り返ってみましょう。もし、それほどの思いがなかった人は、もう一度強く信じて挑戦してみると達成できるかもしれません。

明日から短い春休みが始まります。新しい学年に向けて、どんな目標にするかや、どれくらい本気で取り組むかをじっくり考えるよい機会にしてみてください。

それでは皆さん、4月7日の始業式に1学年上の凜とした姿で再会できることを期待し、式辞とします。